



## 夢 が目標に変わり、夢を与える立場になったことを実感

JFA U-15 サッカー日本代表としてフランス遠征に参加

10月24日から11月3日まで、令和7年度JFA U-15 サッカー日本代表のゴールキーパーとして、フランス遠征に参加した東海南中3年の木田蓮人さん(鹿島アントラーズノルテジュニアユース)が、12月15日に山田村長を訪問しました。木田さんは、「日本代表としての自覚を新たにするとともに、夢が目標に変わりました。夢をもらっていた立場から与える立場になったことを実感しています」と報告。山田村長からは、「昨年度からさらに成長し、たくましくなったと感じます。村としても今後も応援していきます。けがに気を付けて、ワールドカップで活躍するような選手になってください」と、ますますの活躍へ期待が寄せられました。



## 長 年にわたり公共の安全と秩序の維持に尽力

第45回危険業務従事者叙勲で「瑞宝双光章」を受章

12月1日、元茨城県警部の柴田利治さんが役場を訪問し、警察功勞により「瑞宝双光章」を受章したことを山田村長へ報告しました。柴田さんは42年の長きにわたり、主に生活安全部門で勤務。献身的な努力を重ねて数多くの重要事件を解決するとともに、部下への指導に尽力するなど、住民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現に大きく貢献しました。受章を受け、柴田さんは「多くの方々のご協力により職務を全うできたことに感謝しています。現在も地域のパトロール活動に携わっており、地域の皆さまの安心と安全の確保に努めていきたいです」と話してくれました。



## 宝くじの社会貢献広報事業を活用し、防災資機材を整備しました

【問い合わせ】防災原子力安全課消防防災・原子力安全担当(☎282-1711 内線1522)

白方区自治会防犯・防災委員会(委員長：佐藤一也さん)では、一般財団法人自治総合センター(東京都千代田区)が実施する宝くじの社会貢献広報事業の一つである「自主防災組織育成助成事業」を活用し、白方区自治会集会所に防災倉庫1棟、車椅子1台、トランシーバー2台を整備しました。この事業は、宝くじの収入を財源に、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するため、コミュニティ活動等に必要な備品の整備に対して助成するものです。

今回整備を行った白方区では、年2回の防災訓

練を実施し、災害時に必要な資機材を「いつでも」「誰でも」「安全」に使用できるよう訓練を重ねています。佐藤委員長は、「今後も、資機材の整備や訓練を通して自主防災組織を発展させ、地域に貢献していきたいです」と決意を語ってくれました。



▲白方区自治会防犯・防災委員会関係者の皆さん

